



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合っしてほしいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。  
よろしくお願いいたします。

## ★資料名

「ありがとうの言葉」

## ★今回の道徳の授業のねらい

礼儀の意味や大切さを知り、誰に対しても真心を持って接しようとする態度を育てます。

## ★お話のあらすじと内容

ふだんは、あいさつやお礼の言葉が上手に出てこないひろしですが、なくしてしまった大切な帽子を届けてもらい、思わず「ありがとう」の言葉がとびだします。お礼に行かなくてはと思いながらも、照れくさいなあと考えていたひろしが祖母から、「有り難う」の言葉の意味を知らされ、「ありがとう」の言葉がみんなをととてもよい気持ちにさせることに気づくという内容です。ひろしの心の変容を通して、感謝の気持ちを態度に示すことや礼儀正しくすることで心の通い合いが生まれることに気づかせ、ふだん何気なく使っている、あいさつの言葉の意味を考えさせる教材です。

## ★子どもたちの授業で感じたことや振り返り

- ・家でいつもご飯を食べるときに「いただきます」「ごちそうさま」を全然言えていないので、これからは感謝の気持ちを持ってしっかり言いたいと思えました。
- ・今日の授業でありがとうは「有り難い」からきて、有ることが難しいこの世にめったにないほどすばらしいものという意味があると分かりました。これからはもっと大きな声であいさつをしたいと思います。
- ・学校では礼儀よく過ごしているけど、家ではあいさつができていないと気づけたので、相手が親や兄弟であつてもしっかりあいさつをしたいと思います。

## ★家庭で話し合っしてほしいこと

人とのよい関係は、明るくあいさつを交わし合うことから始まります。家族間でのお子さんの状態を把握していただき、あいさつにより心が通い合うことや、家族間でいつも明るいあいさつを交わせるようご指導して頂けると幸いです。また、日常で何気なく使っているあいさつの言葉や礼儀の意味についても話し合っ頂きたいです。よろしくお願いいたします。